

7/5 福井

# 「玄海再稼働に反対」

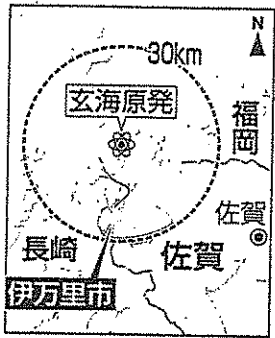
## 30キロ圏の伊万里市長表明

佐賀

九州電力玄海原発（佐賀県玄海町）から30キロ圏に位置す

る同県伊万里市の塚部芳和市長は4日の記者会見で「原発の再稼働に反対の立場である」と表明した。福岡、長崎を含む30キロ圏の自治体8市町の首長が反対を打ち出したのは長崎県佐賀市に続いて2市目。

九電は2016年度内の玄海原発3、4号機の再稼働を目標しており、原子力規制委員会も審査を進めている。ただ周辺で複数の自治体が反対を示したことで、再稼働が難



航する可能性もある。

市防災危機管理課によると、塚部市長は会見で「（福島第1原発の事故で）原発が止まった当初は経済や市民生活が大変になると思ったが、5年が経過し、再稼働しなくていいのではないかと市民は思っている。事故が起きたら、取り返しがつかない」と発言した。

立地自治体の佐賀県や玄海町は原発再稼働の際、地元同意の対象になるとみられるが、他の30キロ圏の自治体は外れる見通し。そのため、伊万里市は2月に県との間で覚書を締結。県と九電が結ぶ安全協定の運用に当たり「市の意向に十分配慮する」とした。県は再稼働の是非は覚書の対象にならないとしているが、市は「準用される」としている。